

【校長あいさつ】

「4000本の安打を打つには、8000回以上は悔しい思いをしてきている。それと常に自分なりに向き合ってきた。」

これは、日米通算4000本安打を達成した時のイチロー選手のコメントです。

あれほど偉大な選手でさえ、数多くの失敗をし、悔しい思いをしている。まして凡人である我々が、日々多くの失敗をし、悔しい思いをするのは当然のことです。問題は、多くの失敗と向き合い、そこから真摯に学び、チャレンジし続けることだろうと思います。

野球部は、この夏の戦いを目標にこれまで苦しい練習をしてきました。ここまでの大会では悔しい思いも数知れずあったことでしょう。ウエートリフティング部とカヌー部は県大会を勝ち上がり全国総体に挑みます。これまた、平坦な道ではなかったと思います。太鼓部は全国総文祭でのパフォーマンスです。三年生が少ない中、様々な苦労があったことでしょう。吹奏楽部は県コンクールでの演奏です。これまた二・三年生が少なく、大変だったことと思います。

みなさんが日々苦労したこと、失敗したこと、悔しい思いをしたことは、決して無駄ではありません。それぞれが挑む大会では、失敗を恐れることなく、自分の中にある弱さに負けることなく、頑張ってもらいたいと願っています。

イチロー選手はこうも言っています。「びっくりするような好プレイが、勝ちに結びつくことは少ない。確実にこなさないといけないプレイを確実にこなせるチームは強い。」

日頃以上のものを出そうと力むのではなく、日頃やってきたことを確実にこなす。そんな気持ちで大会に臨んでください。

出雲農林高校の代表として、島根県の代表として、耕魂精神をいかに発揮し頑張ってください。健闘を祈っています。